

The background of the slide is a collage of Japanese yen banknotes. Visible details include the word 'REWARD' on a yellow note, 'EXP.' on a blue note, 'VALID DATES' on a green note, and 'AM' on a grey note. A large white rounded rectangle with a black border is centered on the slide, containing the main text.

ECOMOカードが日本を救う

～クレジットカードを利用した環境ビジネスへの投資スキーム～

慶應義塾大学

金子陽平(経済学部)

田中頌大(商学部)

大谷晃明(理工学部)

なおこの話は

- 三井住友カード株式会社人事部
青葉様
- 三菱UFJ投信株式会社経営企画部兼CSR推進室
四方様

御二方へのインタビューの結果をふまえて作成しております。

CONTENTS

1. 日本国内の課題・問題点
2. それら諸問題を解決すべく着目した業界
3. ECOMOカードの具体的説明
4. ECOMOカードによる課題解決

CONTENTS

1. 日本国内の課題・問題点
2. それら諸問題を解決すべく着目した業界
3. ECOMOカードの具体的説明
4. ECOMOカードによる課題解決

1章 我々が考えた日本国内の課題・問題点

1

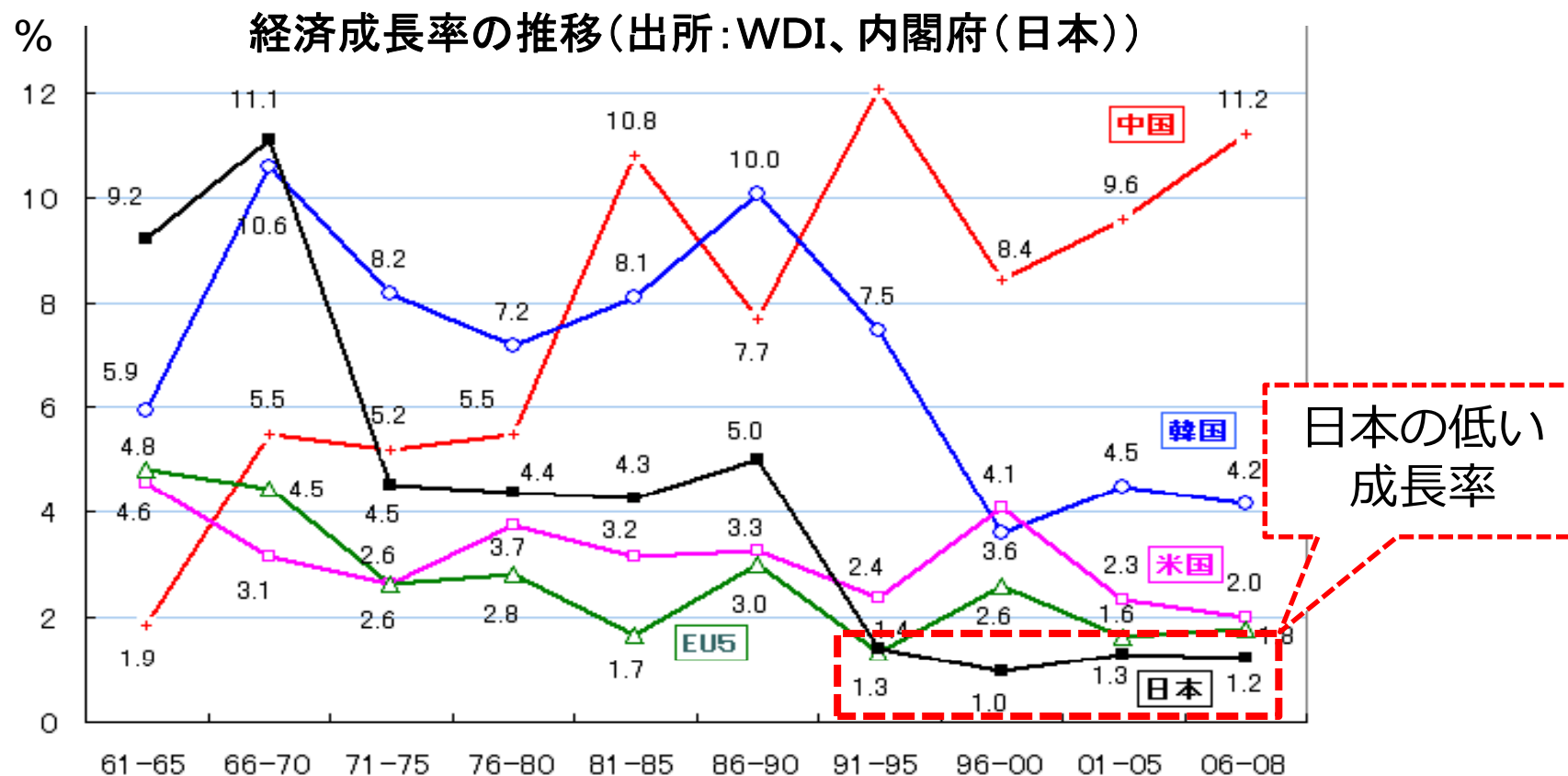
基幹産業

停滞する日本経済を牽引する新しい産業が必要である。

新たな基幹産業の創出

持続可能な経済発展の為に、新産業の創出が必要！

80年代末バブル崩壊後 10 年以上にわたって日本経済は停滞。
今こそ持続可能な経済発展の為に、日本経済をけん引できる新産業の創出が必要不可欠！



1章 我々が考えた日本国内の課題・問題点

2

環境問題

環境問題は、国際社会の重要な政策課題である。

環境問題が、国際社会の重要な政策課題！

企業と環境の系譜

1990

ISO14001

環境に配慮した企業行動を推進
⇒企業が環境活動で市場へアピール

京都議定書合意

2000

CSR：企業の社会的責任
SRI：社会的責任投資

社会貢献度の高い企業しか
生き残れない

京都議定書発効

世界中が地球環境へ注目
⇒環境問題が重要な課題へ

洞爺湖サミット

2010

2050年までにCO2を50%削減

1章 我々が考えた日本国内の課題・問題点

3

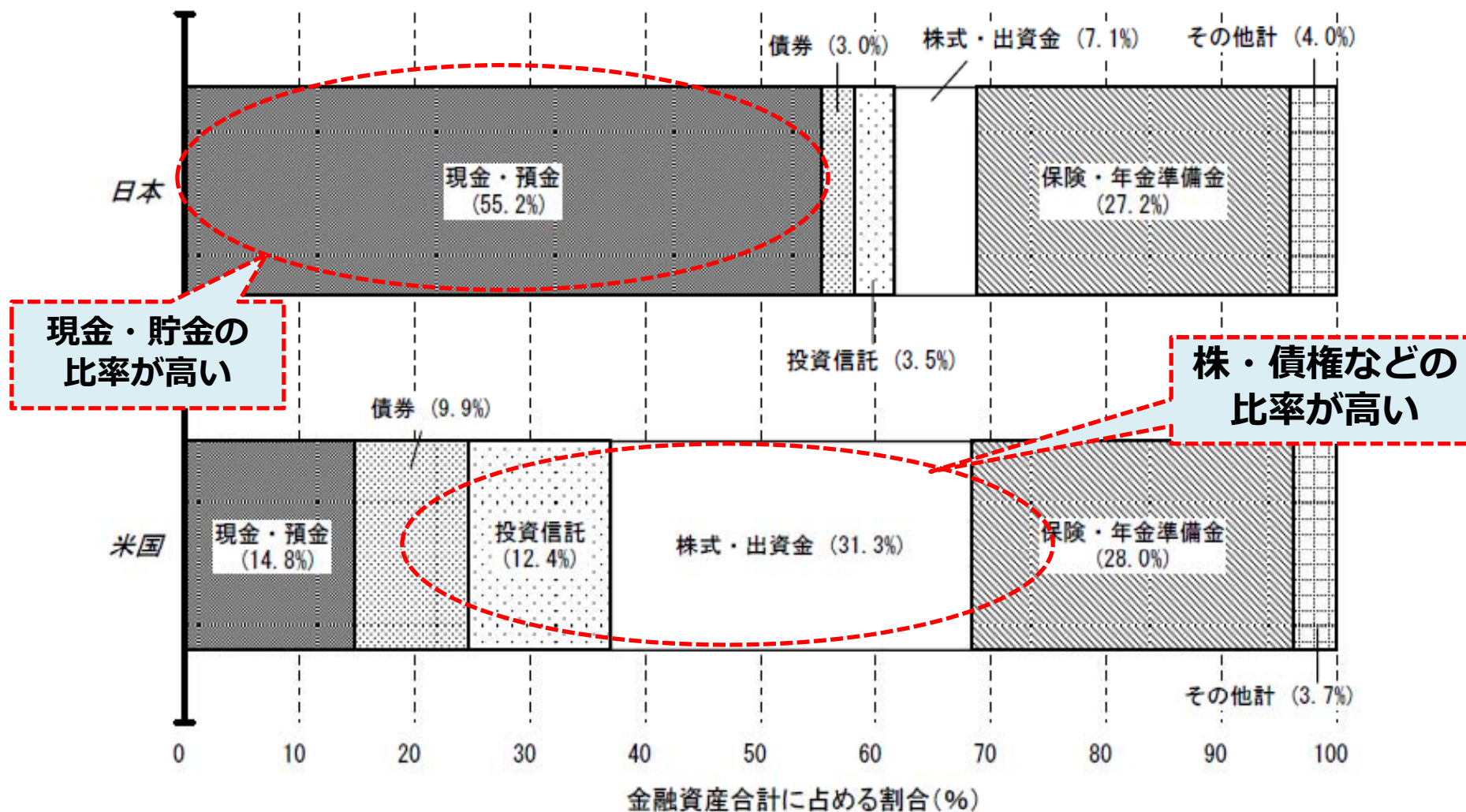
投資率の低さ

日本は欧米に比べて金融資産における投資比率が低い。

日本人の投資率の低さ

日本は現金・預金の金融資産の比率が**極めて高い**

家計の資産構成（2009年6月末・日本銀行調査統計局）



日本人の投資率の低さ

日本は現金・預金の金融資産の比率が**極めて高い**



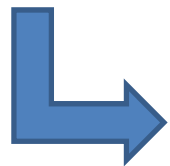
家計の余剰資金が**銀行を経由**しないと企業にいきわたらない



経済がうまく機能しない

では、どうすればいいか？

日本人の投資率を向上させる必要がある！

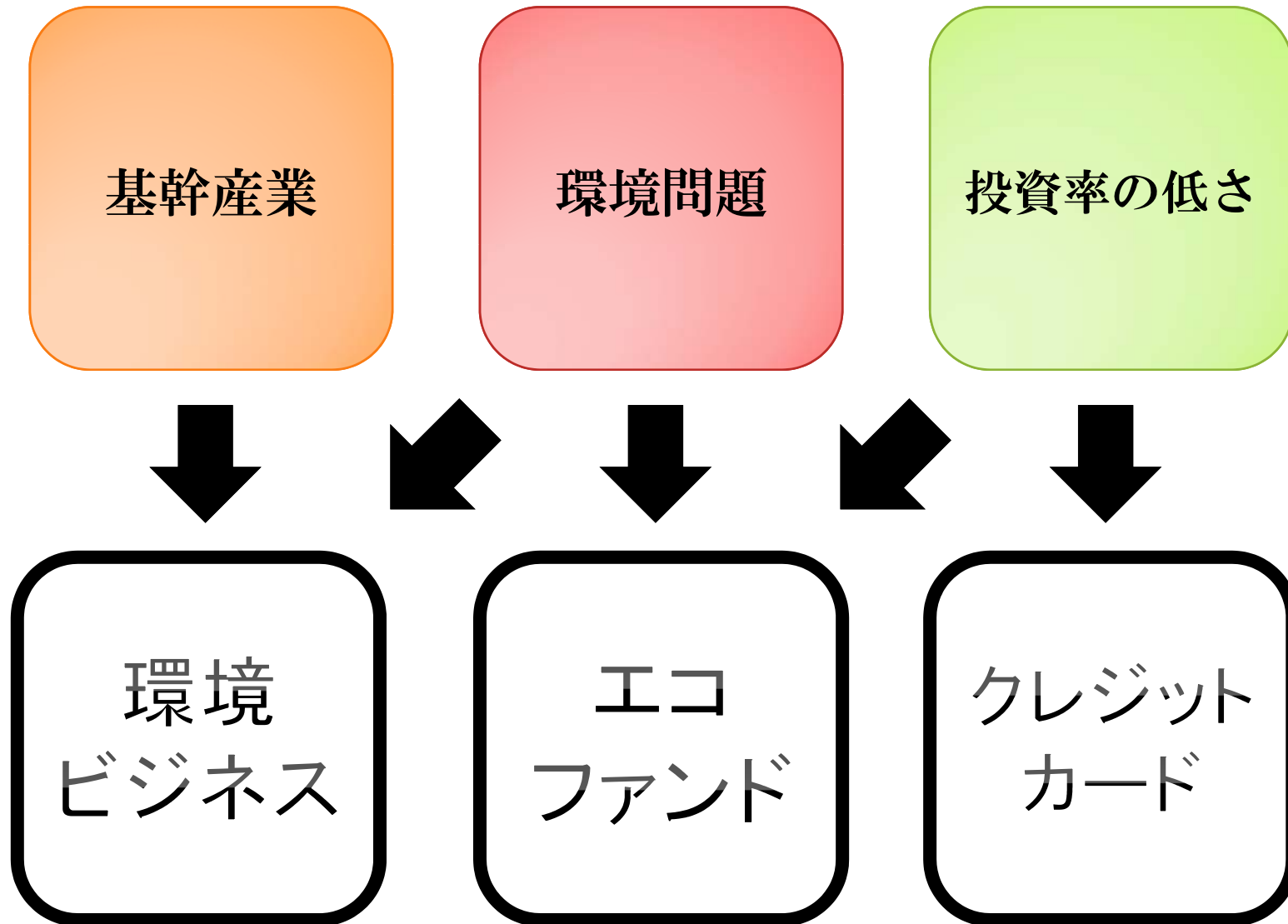


日本人の金融リテラシーの向上

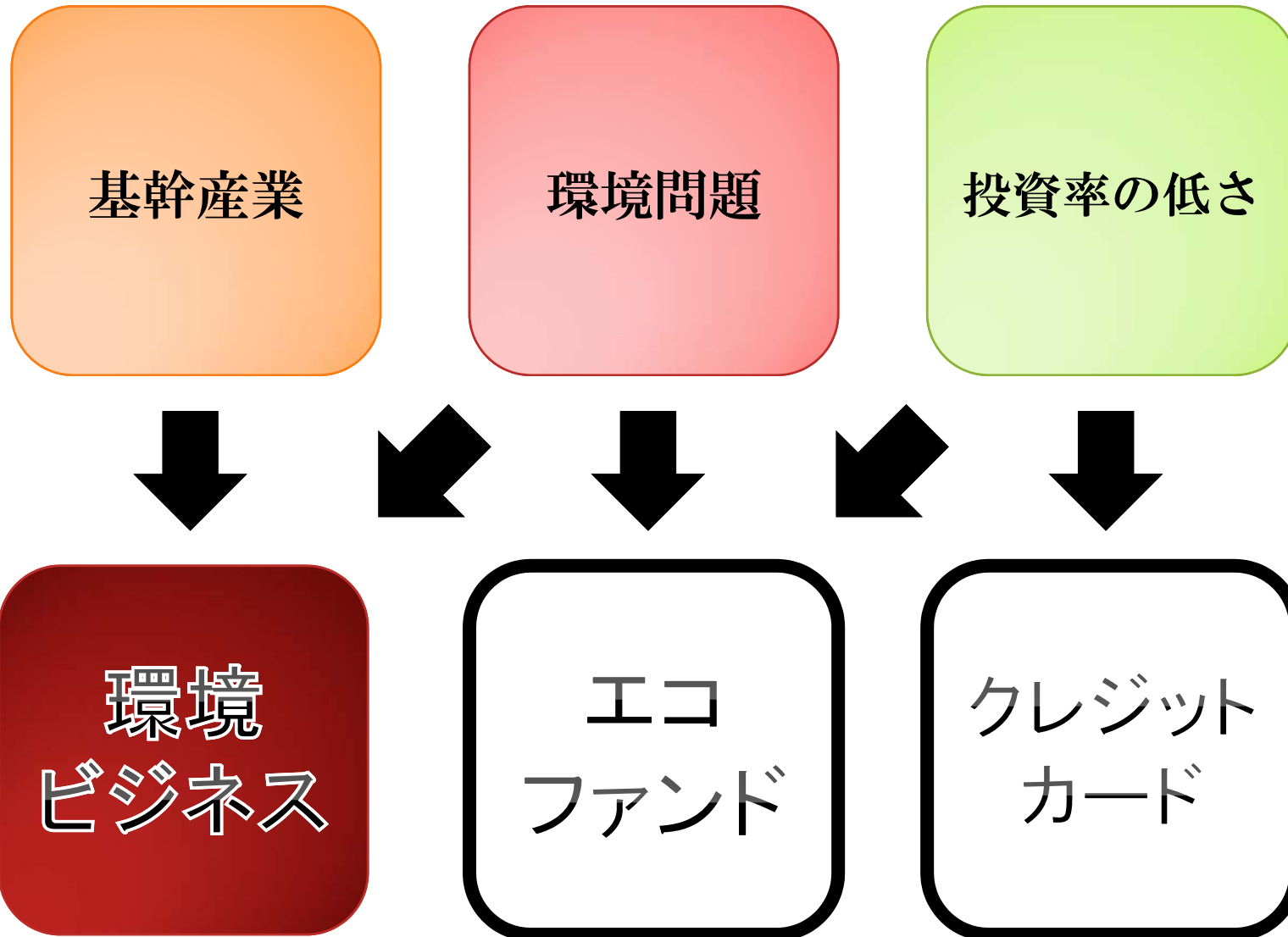
CONTENTS

1. 日本国内の課題・問題点
2. それら諸問題を解決すべく着目した業界
3. ECOMOカードの具体的説明
4. ECOMOカードによる課題解決

2章 諸問題を解決するために着目した業界



2章 諸問題を解決するために着目した業界



環境ビジネスとは

環境省は環境ビジネスを

「環境保全に資する製品やサービスを提供し、社会経済を環境配慮型のものに変える技術やシステム等を提供する」
ものと定義



要は、

「環境問題への解決策を提供するビジネス」

◆具体的には

- 太陽光発電・太陽電池
- エコカー
- 省エネビジネス
- バイオ燃料
- 水ビジネス

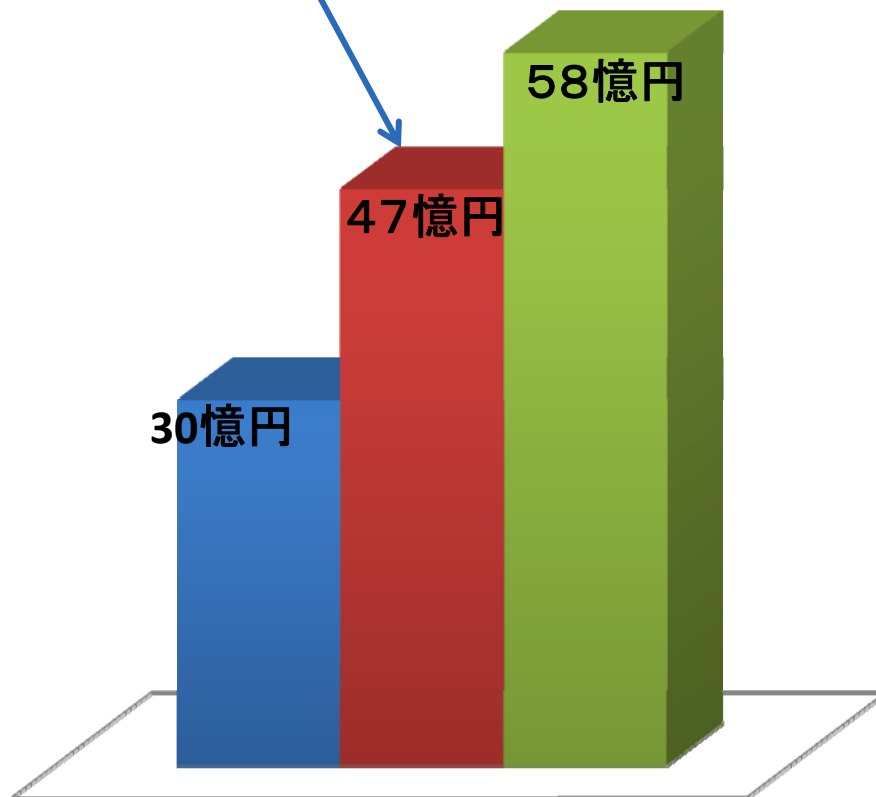


拡大する環境ビジネス市場

2010年、環境ビジネスは…

市場規模は47億円！57%成長！

→ **日本経済の活性化に期待**

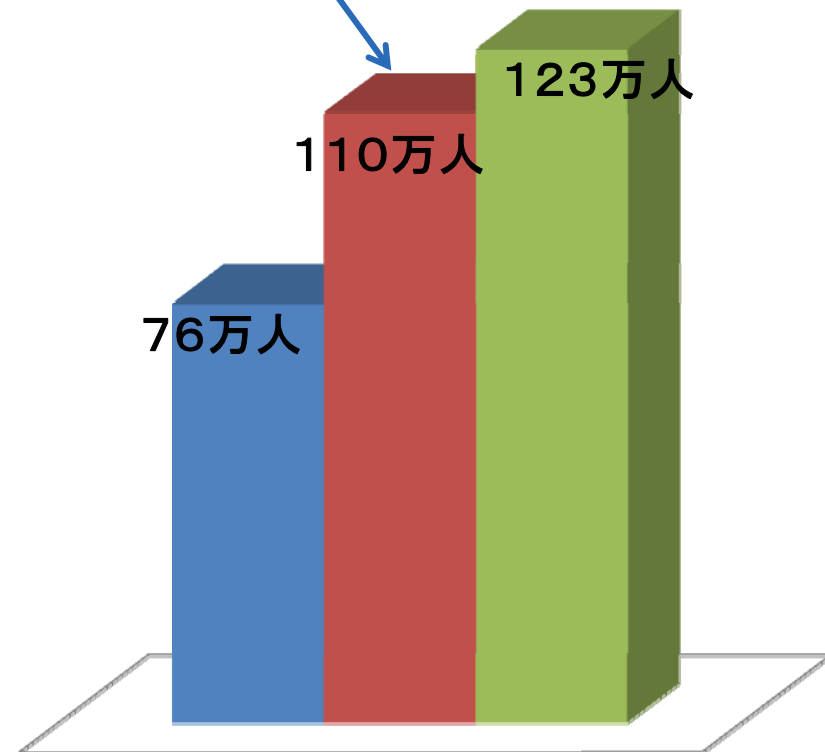


市場規模（億円）

■ 2000 ■ 2010 ■ 2020

雇用規模は110万人！45%成長！

→ **雇用促進に期待**



雇用規模(万人)

■ 2000 ■ 2010 ■ 2020

出所：環境省「報道
発表資料」(2003)

環境ビジネスが抱える課題に対する戦略

◆環境を「力」にするビジネスの戦略には**次の3つの視点が重要**

①金融機関・投資家との関係

課題：リスクが大きく、資金調達が困難

➡成長の為の資金調達チャネルの確保

②「環境に配慮した」事業実施

—環境に関した「企画・立案」

—環境に優しい「開発・生産プロセス」

—環境性能を意識した「販売」

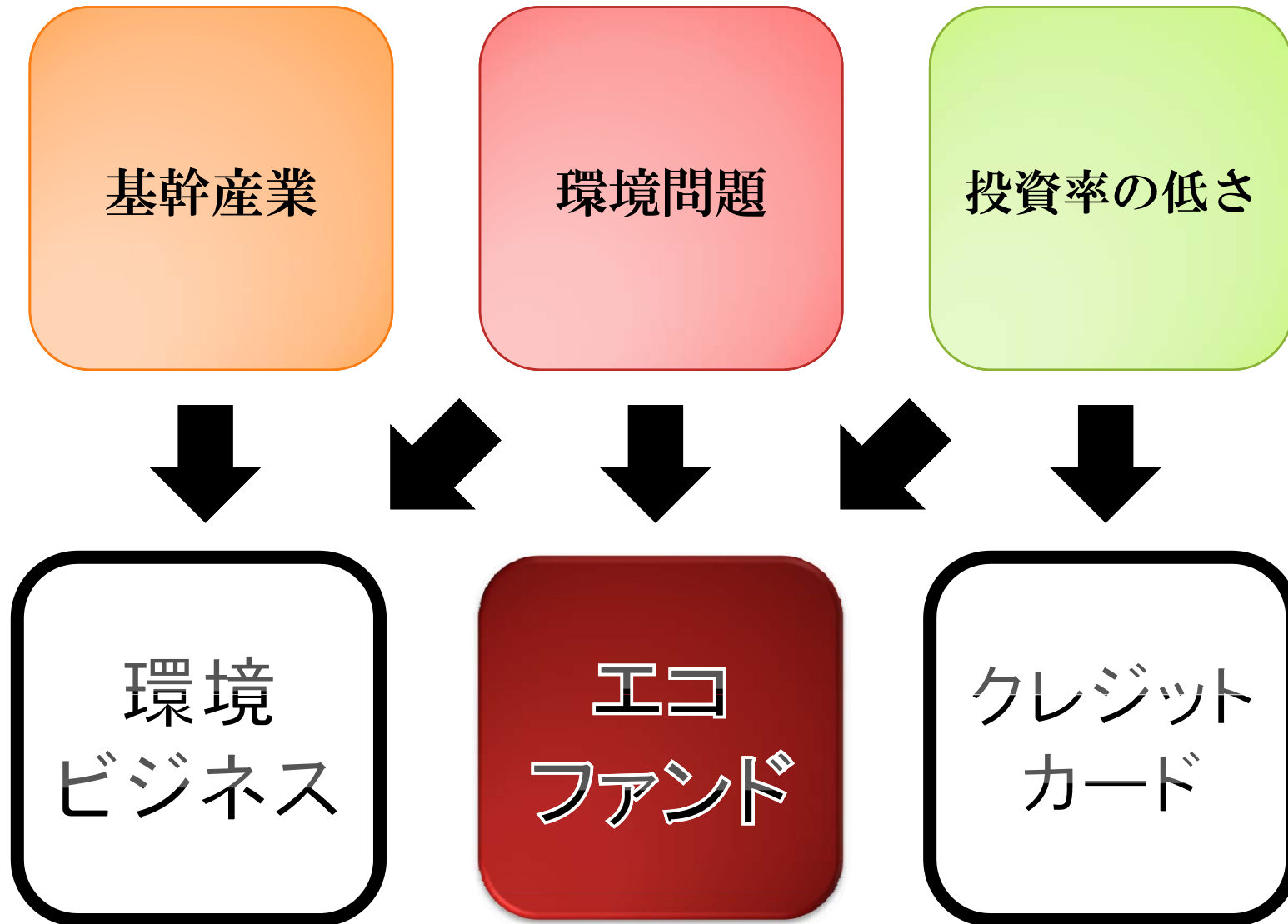
③消費者との関係

課題：国民の環境事業に対する認知度が低い

➡環境に優しいサービス・製品の提供、アピール

参考：経済産業省「産業構造審議会環境部会第1回産業と環境小委員会」

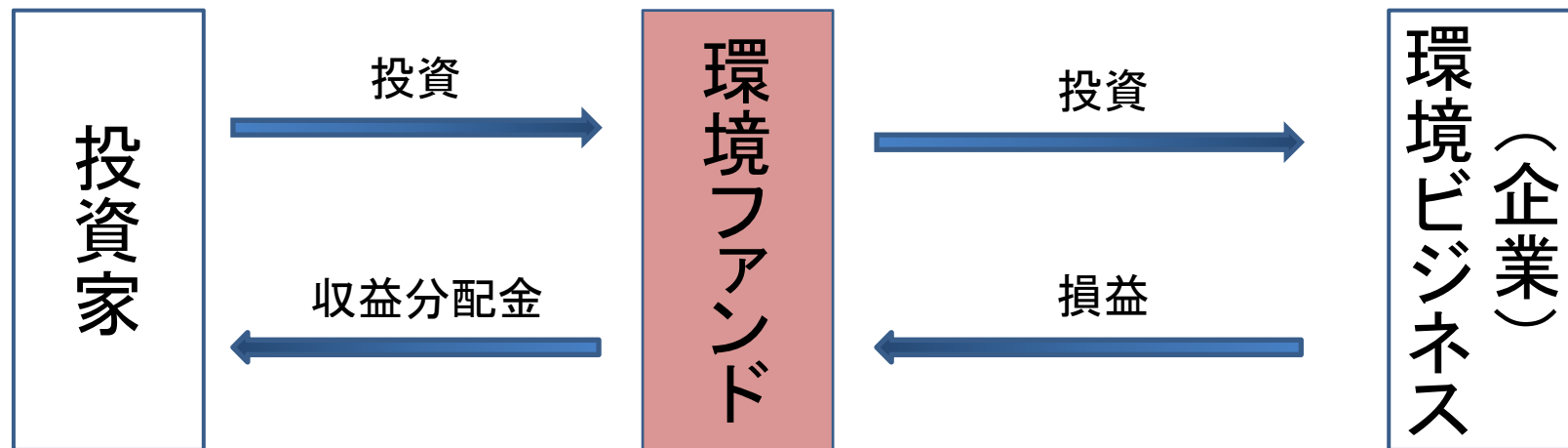
2章 諸問題を解決するために着目した業界



環境ファンドとは

◆環境ファンドとは

環境対策に精力的に取り組んでいる企業の株式に集中的に投資する投資信託



- 理念だけでなく有望な投資対象として環境分野への注目が集まる
- エネルギー、農業、食糧、水資源に関する企業に期待

高まる環境ファンドの必要性

次の理由で、環境ファンドの必要性が高まっている

■ 銀行融資が受けられない企業への資金提供

— リスクは高いが、成長分野の環境ビジネスへの投資の必要性

■ 資金提供者の多様化

— 投資で環境問題解決に貢献したい富裕個人

■ SRI：社会的責任投資

— 環境や人権に配慮した企業への投資のニーズ

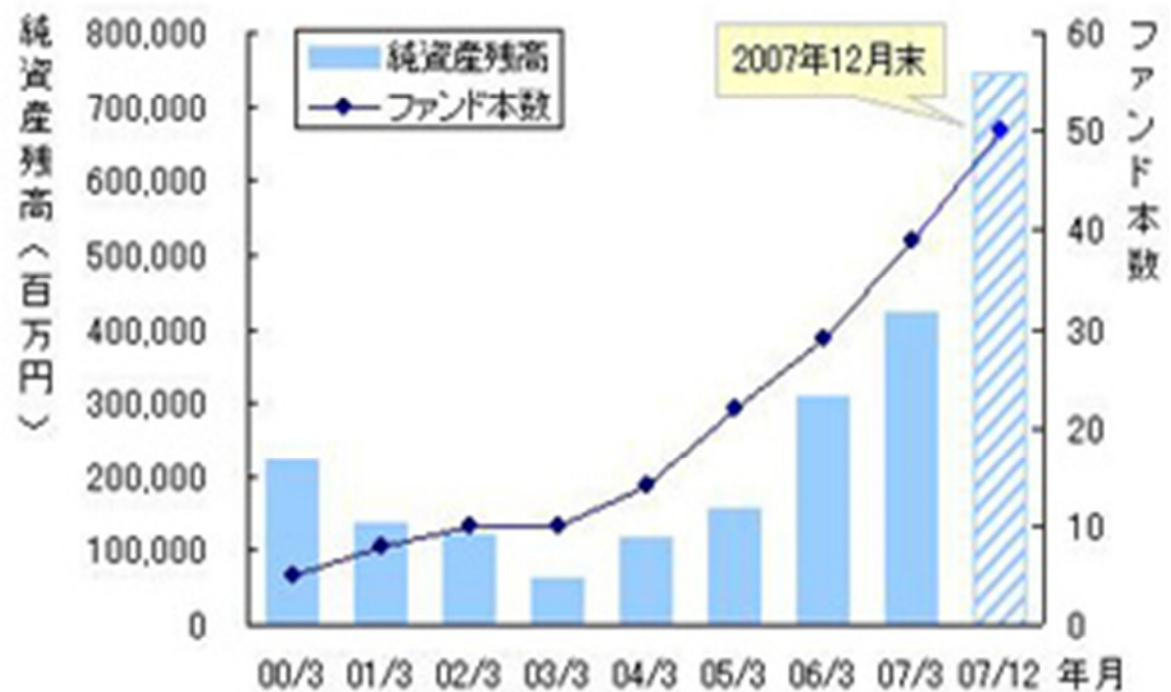
環境ファンドの将来性

◆主な環境関連株ファンド

ファンド名	運用会社	設定日
日興DWS・ニュー・リソース・ファンド		2006年12月
DWS地球温暖化対策関連株投信	ドイチェ・アセット メント・マネジメント	2007年7月
DWSワールド・アグリビジネス・ファンド		2007年9月
DWS新資源テクノロジー・ファンド		2007年8月
地球温暖化防止関連株ファンド	新光投信	2006年6月
UBS地球温暖化対応関連株ファンド	UBS	2007年7月
ラッセル 世界環境テクノロジー・ファンド	ラッセル	2008年5月
三菱UFJグローバル・エコ・ウォーター・ファンド	三菱UFJ投信	2007年7月
三菱UFJグローバル農業関連株式ファンド		2007年11月
地球温暖化対策株式ファンド		2008年3月
野村アクア投資	野村アセットメント マネジメント	2007年8月
ワールド・ウォーター・ファンド		2004年3月
レインボーファンド		1990年6月
温暖化対策株式オープン	国際投信投資顧問	2007年8月
地球環境株・外債バランス・ファンド	大和投資信託	2007年8月
気球環境株ファンド		2007年8月
グローバル ウォーター ファンド	日興アセットメント マネジメント	2007年6月
三井住友・世界食糧関連ビジネスファンド	三井住友アセットメ ントマネジメント	2006年11月
温暖化防止環境関連株オープン	岡三アセットメント マネジメント	2007年9月
エネルギー・食糧関連ファンド	東京海上アセットメ ントマネジメント投 信	2005年9月
DIAM世界環境ビジネスファンド	DIAMアセットメン トマネジメント	2007年9月
中国環境関連ビジネスファンド	T&Dアセットメント マネジメント	2008年6月

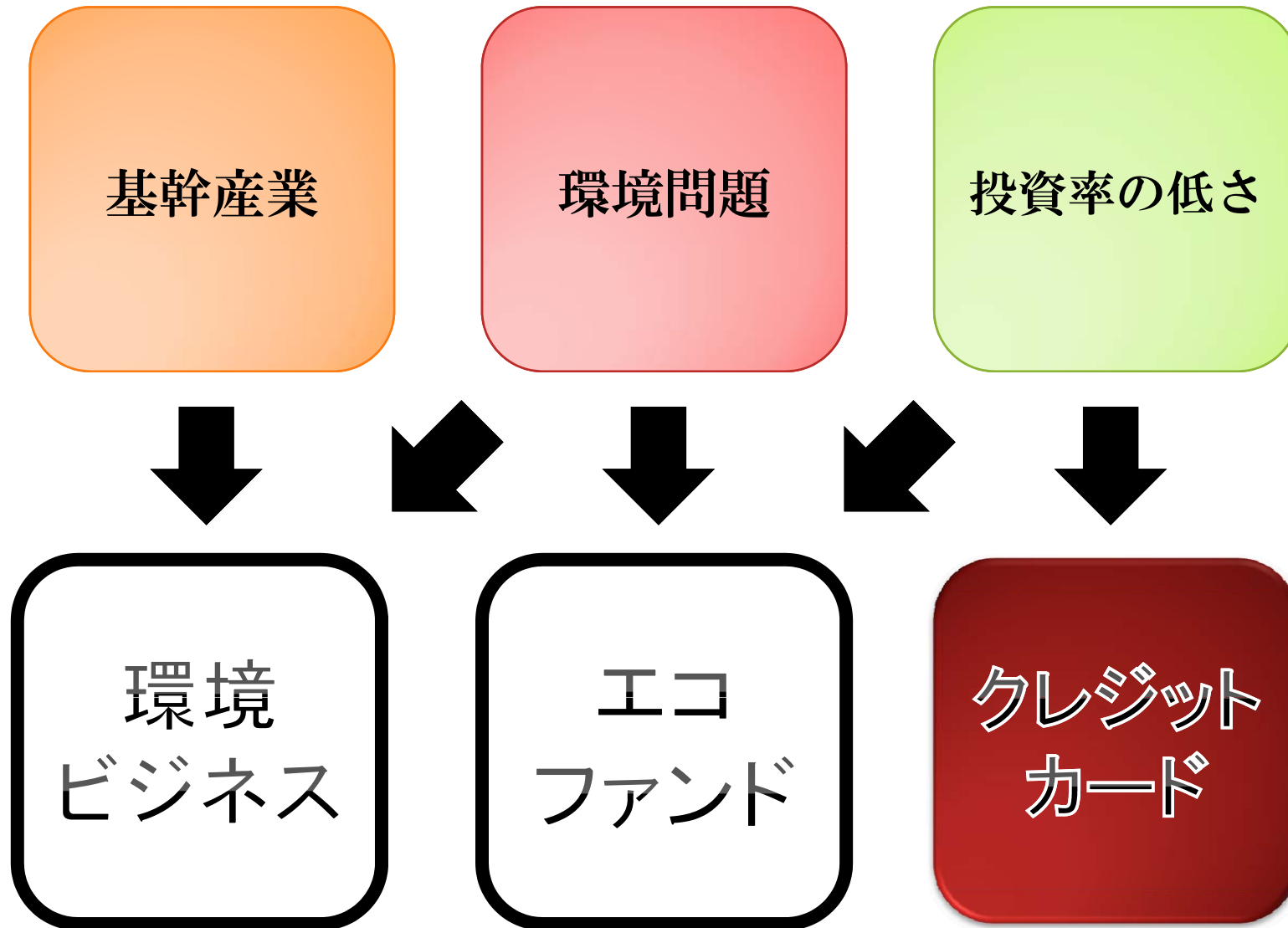
急速に拡大しているSRIファンド

図表 日本の公募SRI投信の純資産残高とファンド本数の推移



出所：NPO法人 社会的責任投資フォーラム

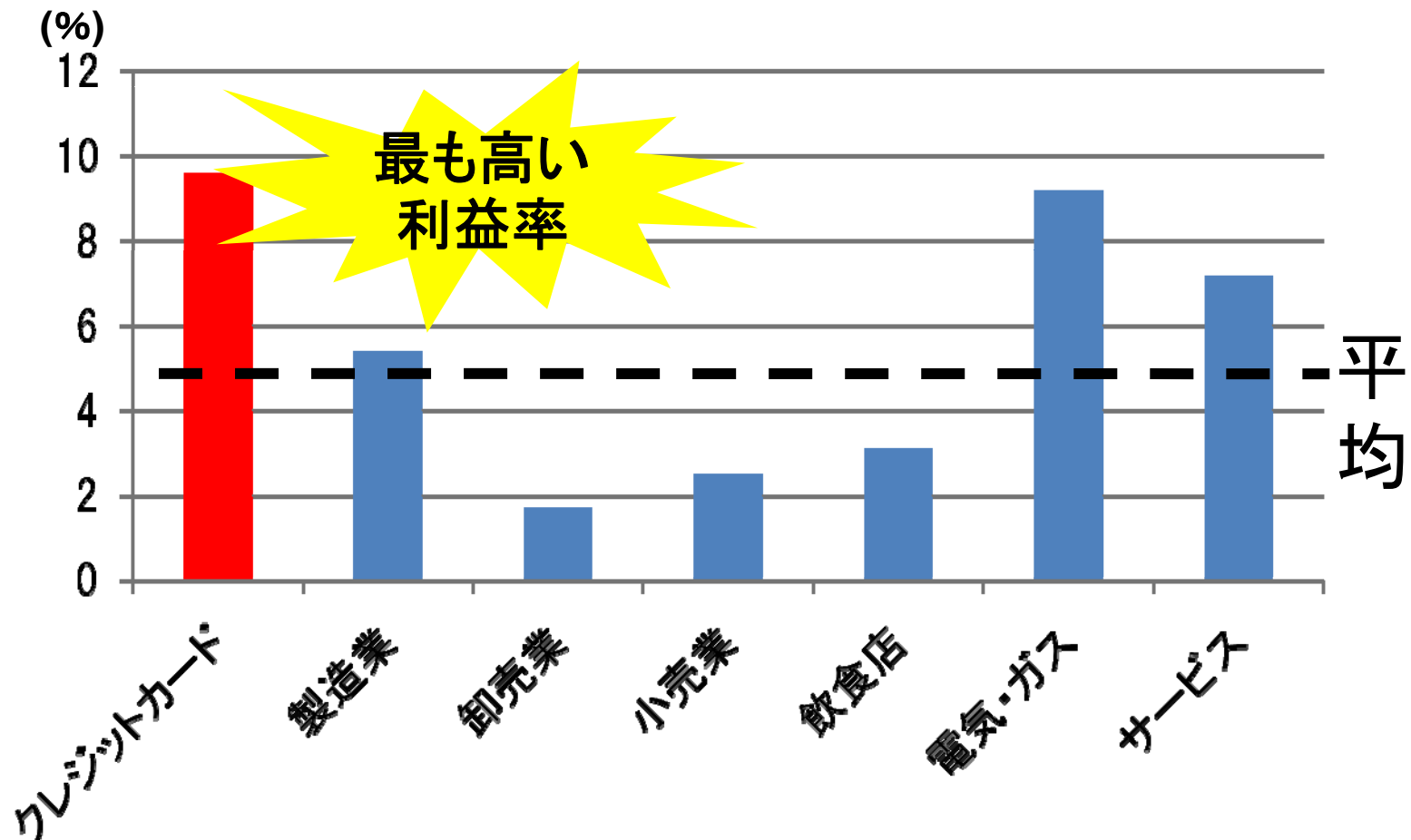
2章 諸問題を解決するために着目した業界



クレジットカードの収益性

他産業よりも高い利益率

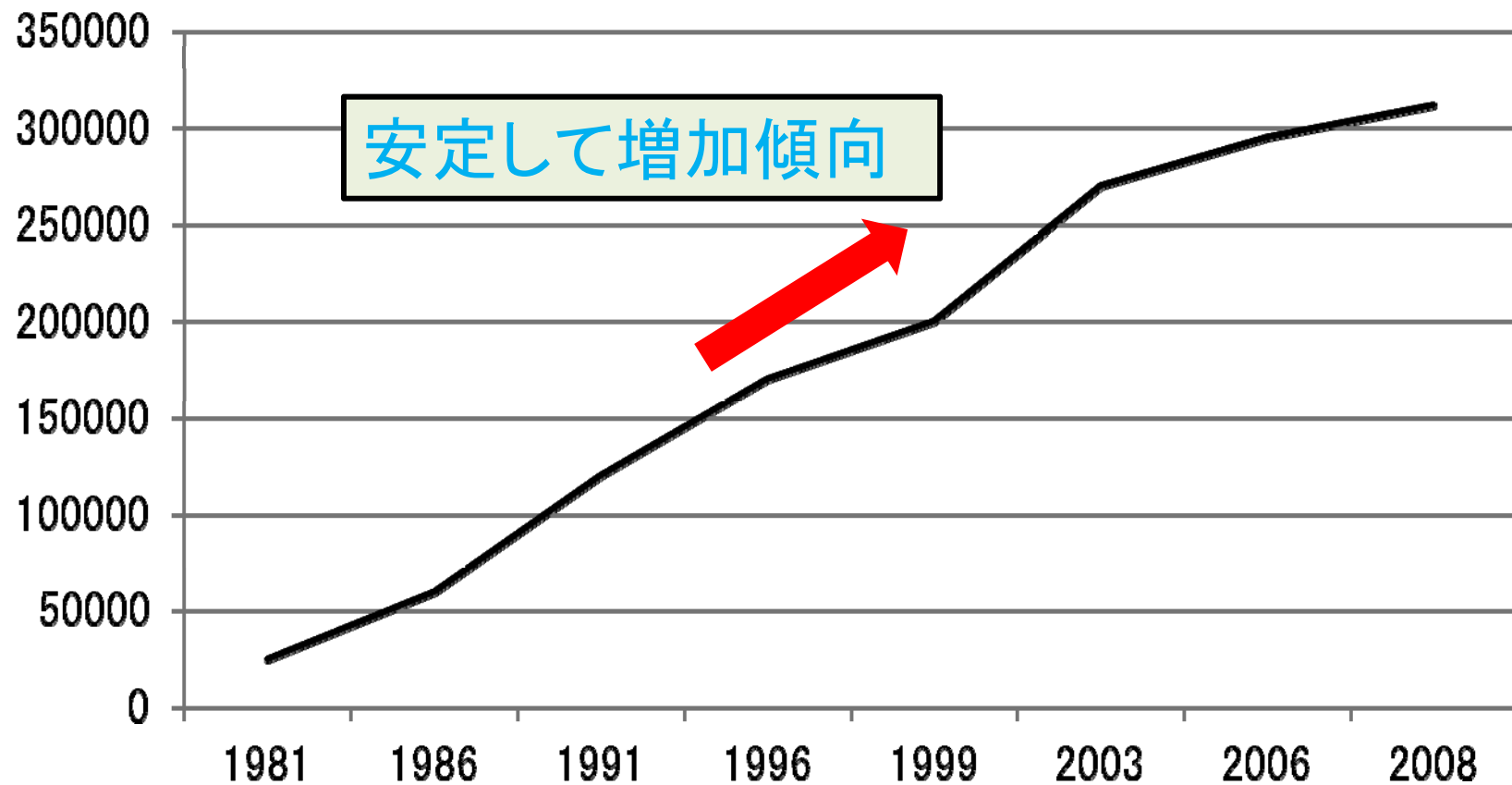
産業別売上高営業利益率（H18年度）



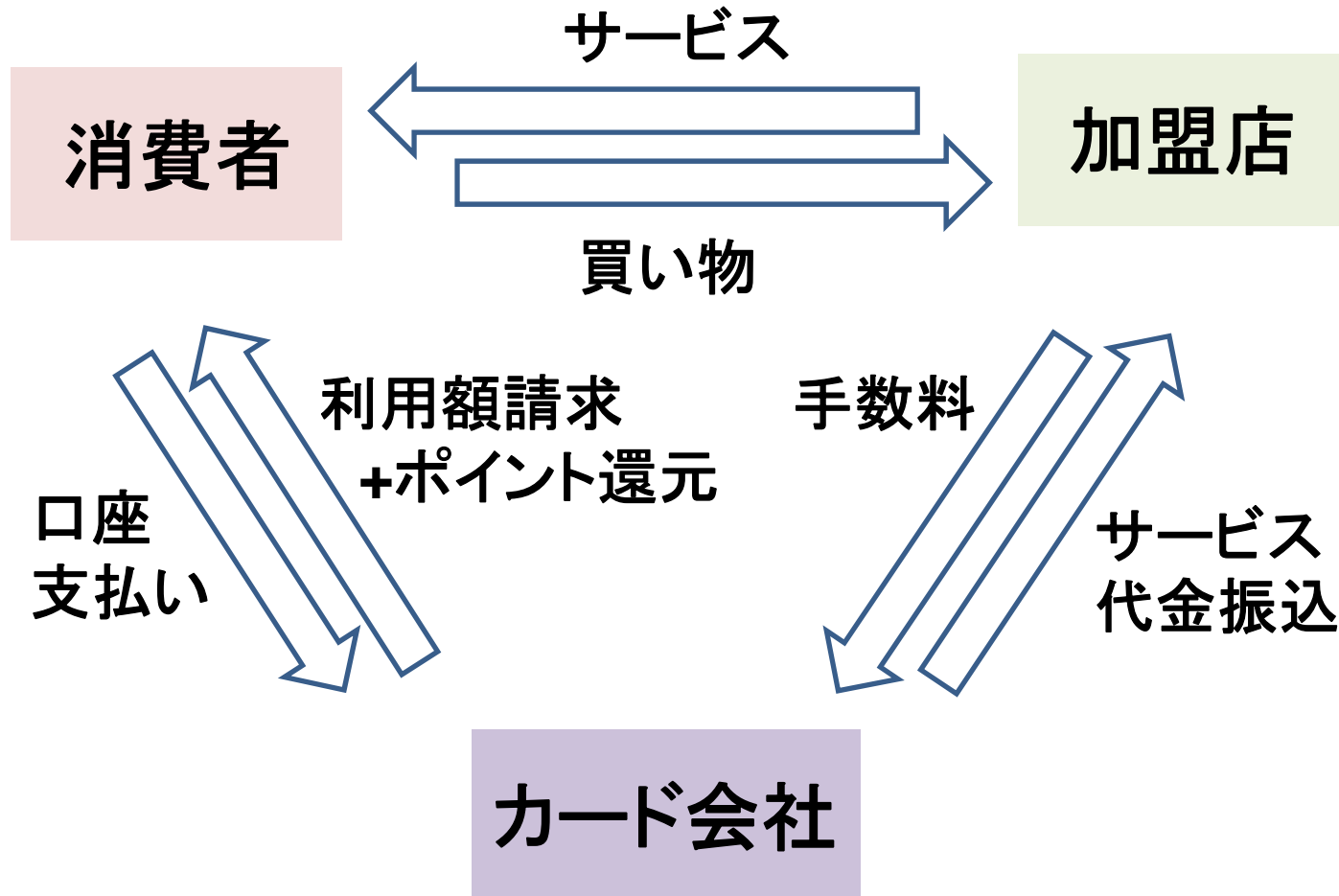
クレジットカードの収益性

売り上げ高の安定した増加

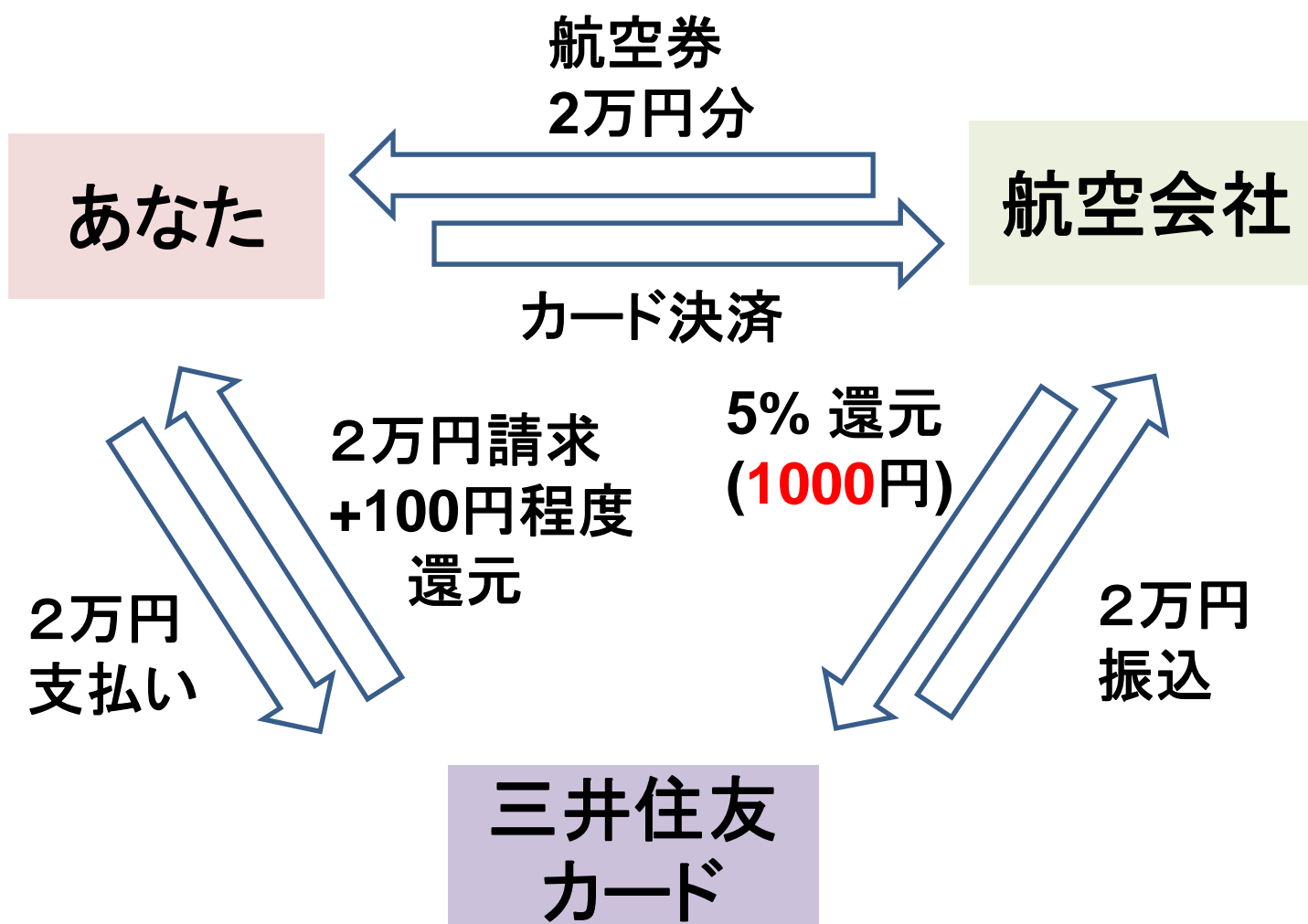
クレジットカードの信用給与額の推移



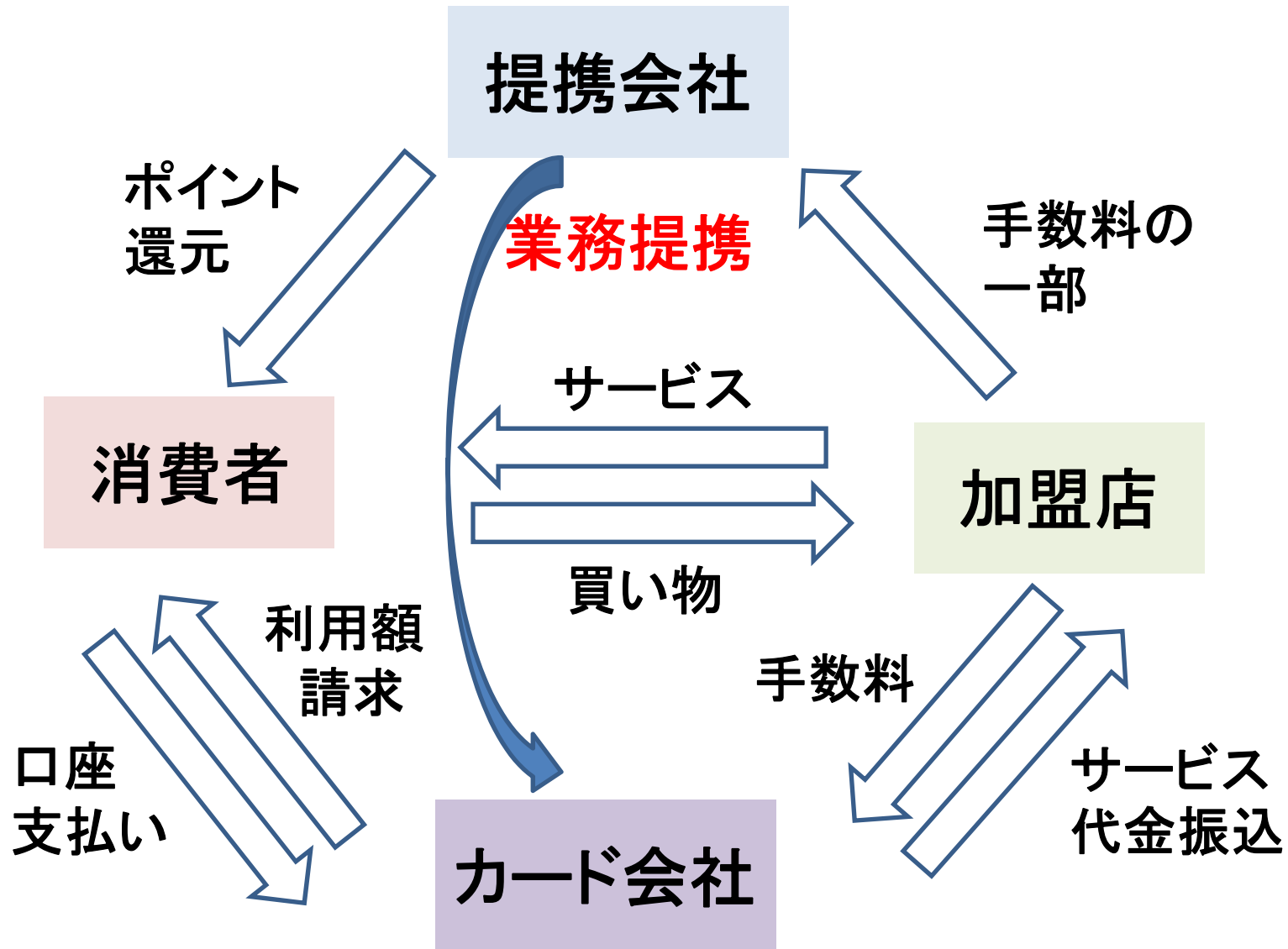
クレジットカードの仕組み(提携なし)



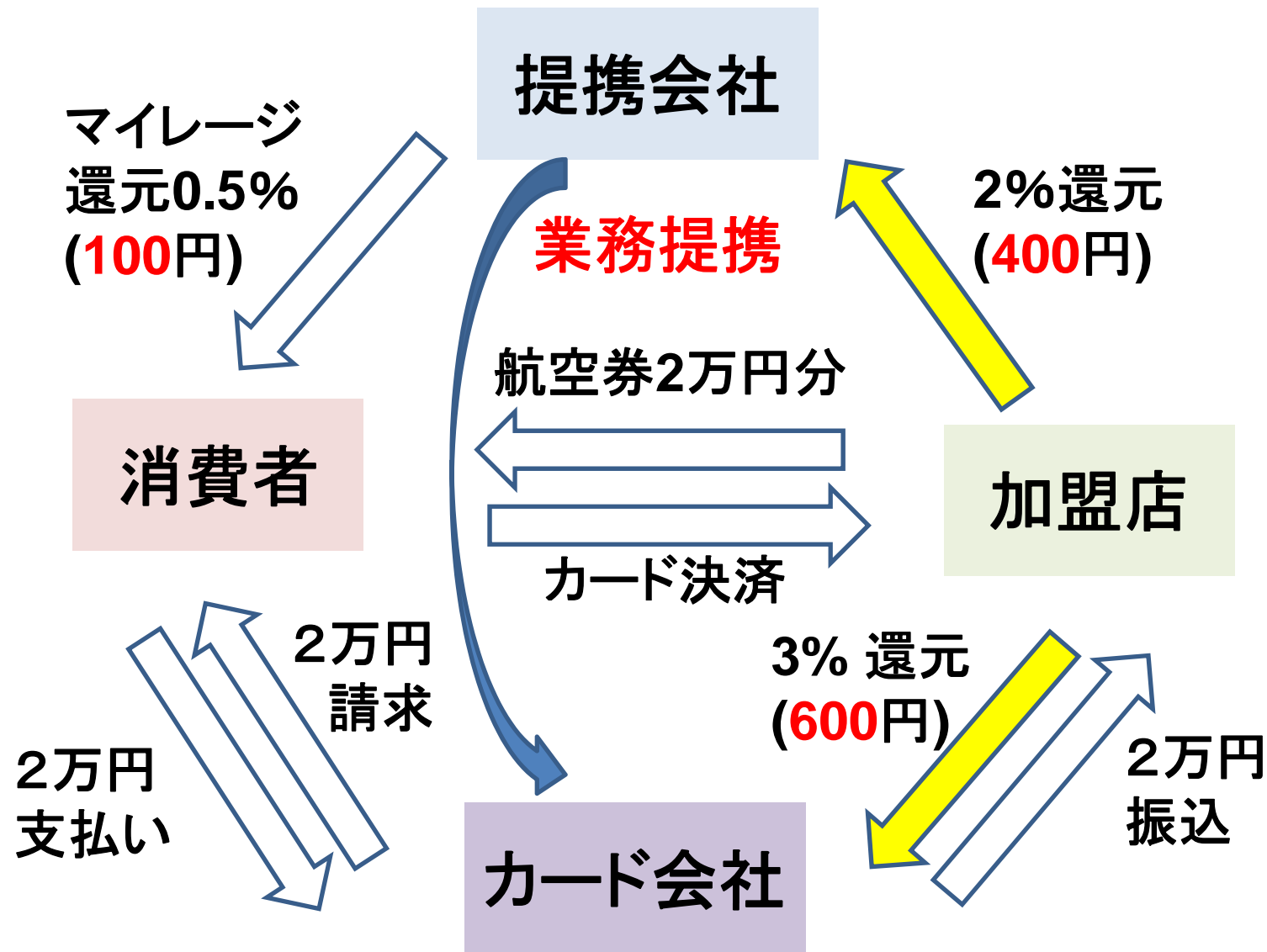
仕組みの具体例(提携なし)



クレジットカードの仕組み(提携あり)



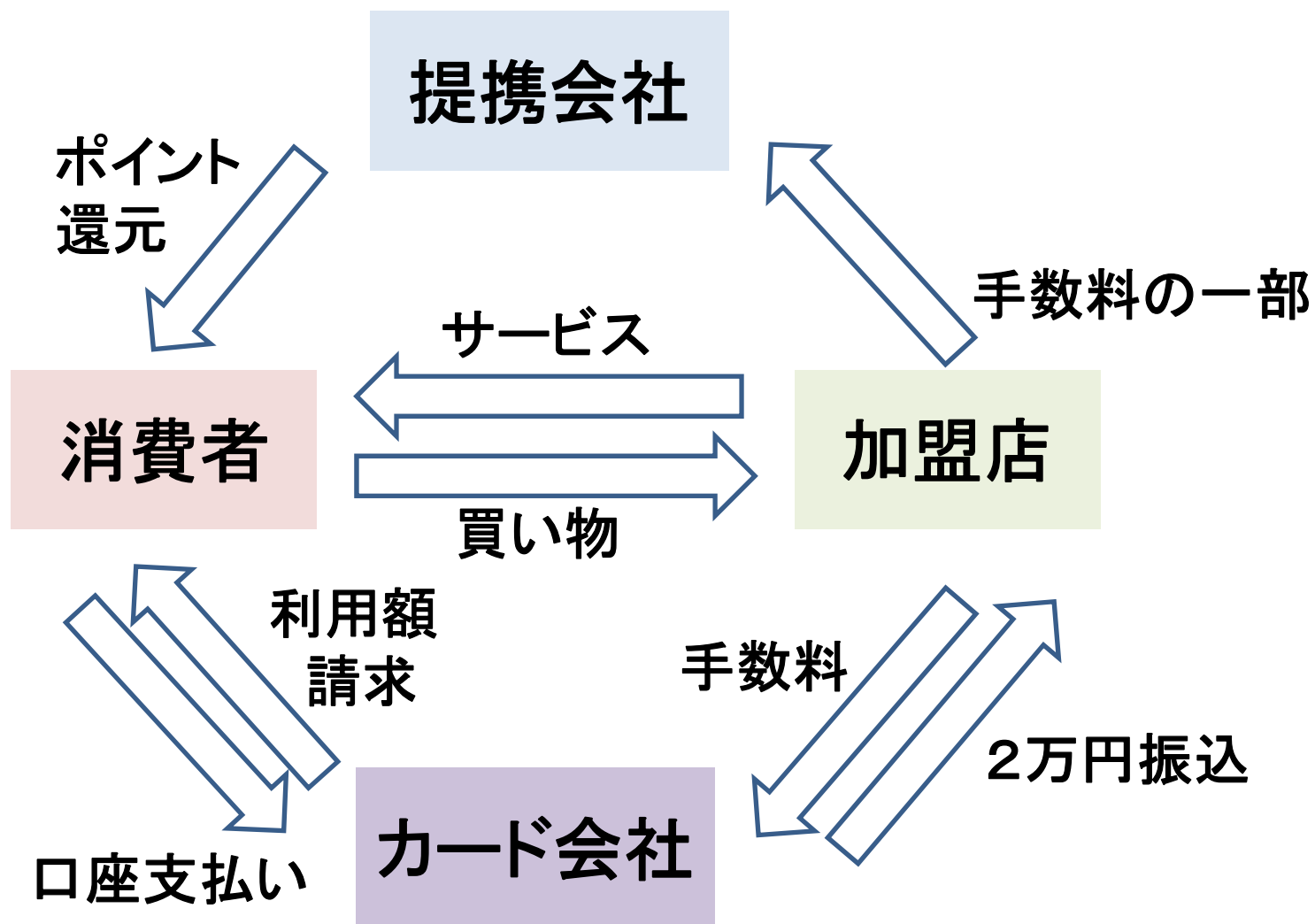
仕組みの具体例(提携あり)



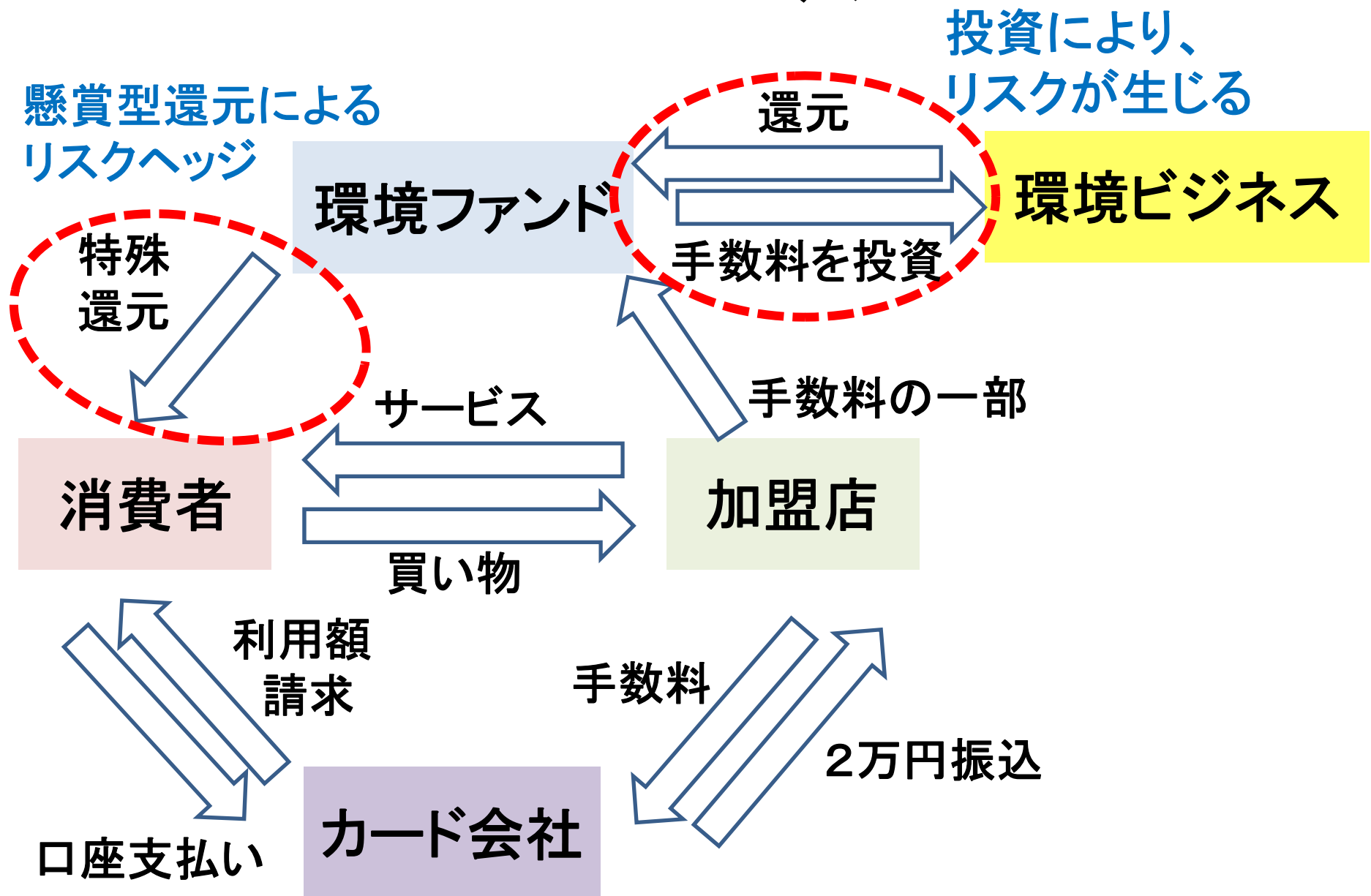
CONTENTS

1. 日本国内の課題・問題点
2. それら諸問題を解決すべく着目した業界
3. ECOMOカードの具体的説明
4. ECOMOカードによる課題解決

ECOMOモデル



ECOMOモデル



3章

ECOMOカードの具体的説明

今後も堅調に
成長の拡大が
見込まれる
クレジット
カード業界

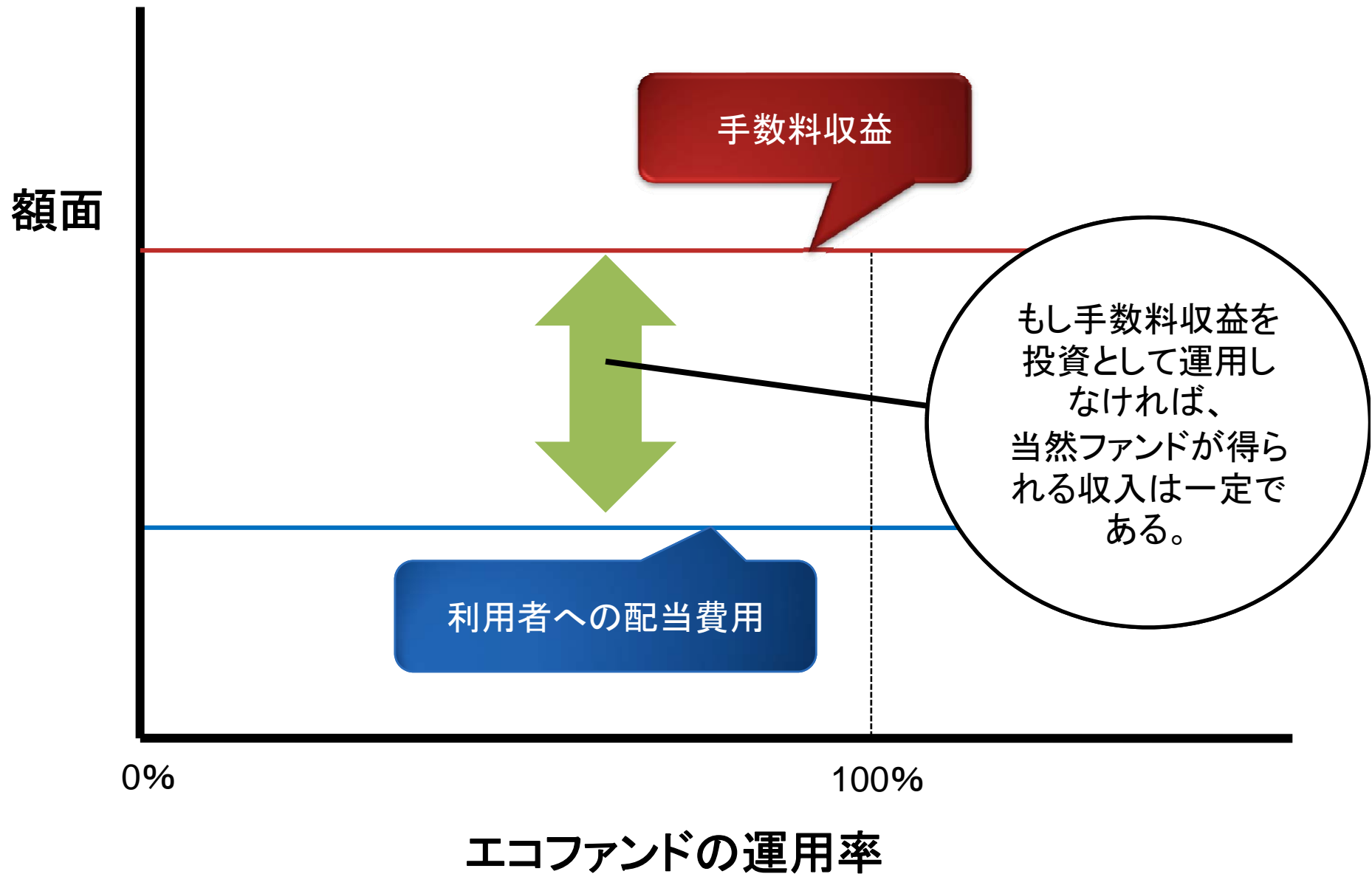
+

日本の新しい
産業である
環境ビジネス
を支援する
環境ファンド

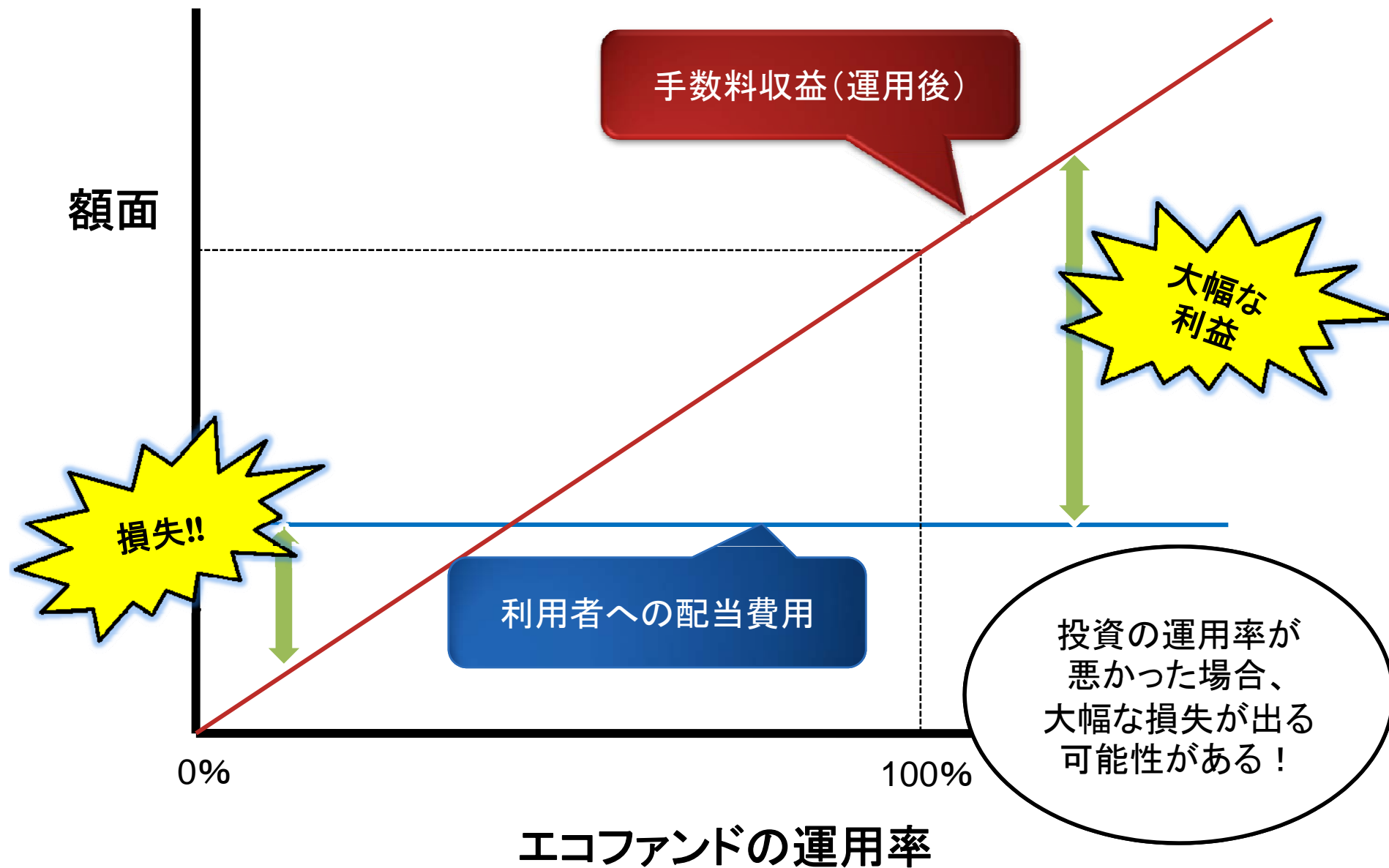
= **ECOMOカード**

新しい形のクレジットカードシステム

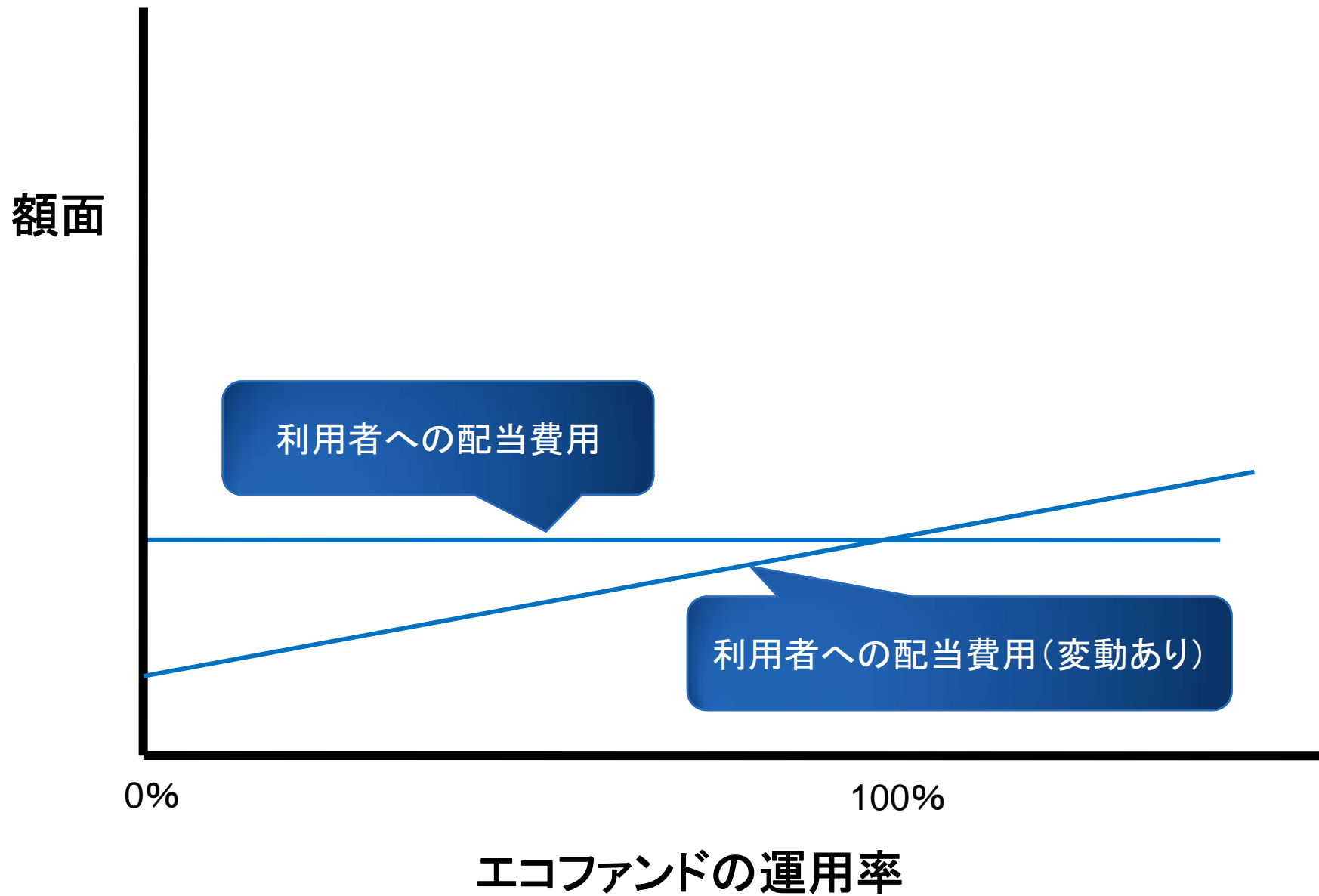
従来のカード(投資なし)の場合



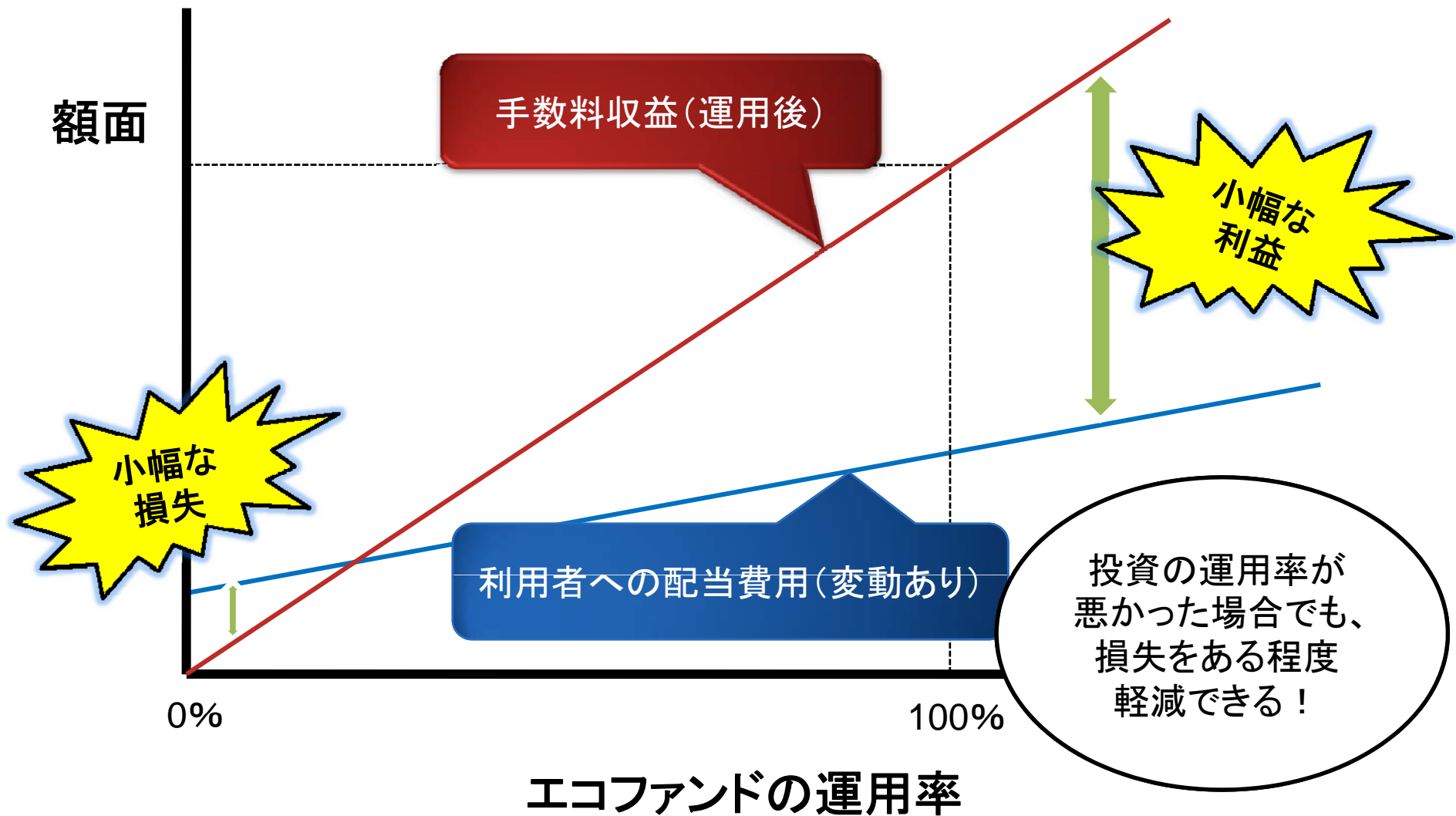
手数料収益を投資した場合



配当費用をファンド自身がコントロール



手数料収益を投資した場合
＋
配当費用をコントロールした場合



ECOMOモデルの還元システム

ECOMOカードは懸賞型還元システムにより、リスクヘッジを実現する。

懸賞型還元システムとは？

保有するポイントに応じて懸賞に参加権を与え、商品を抽選で還元するシステム。

- ① 懸賞応募形式
- ② 商品還元形式

ECOMOモデルの還元システム

ECOMOカードは懸賞型還元システムにより、リスクヘッジを実現する。

懸賞型還元システムとは？

保有するポイントに応じて懸賞に参加権を与え、商品を抽選で還元するシステム。

① 懸賞応募形式

② 商品還元形式

① 懸賞応募形式

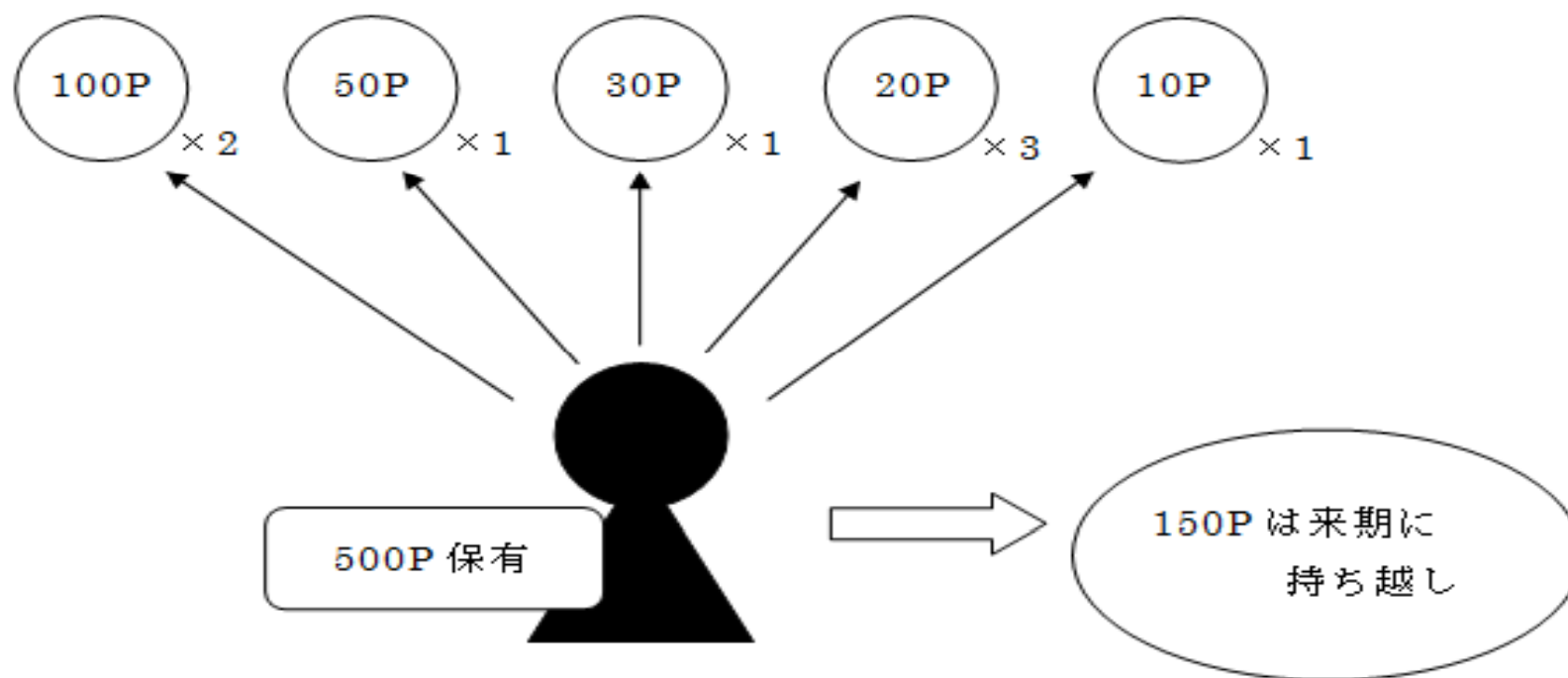
利用者はカードの利用額に応じて一定のポイントを取得



貯めたポイントは使用することも蓄えることも可能



保有するポイントに応じて懸賞への参加権を取得



ECOMOモデルの還元システム

ECOMOカードは懸賞型還元システムにより、リスクヘッジを実現する。

懸賞型還元システムとは？

保有するポイントに応じて懸賞に参加権を与え、商品を抽選で還元するシステム。

- ① 懸賞応募形式
- ② 商品還元形式

ECOMOモデルの還元システム

ECOMOカードは懸賞型還元システムにより、リスクヘッジを実現する。

懸賞型還元システムとは？

保有するポイントに応じて懸賞に参加権を与え、商品を抽選で還元するシステム。

- ① 懸賞応募形式
- ② 商品還元形式

② 商品還元形式

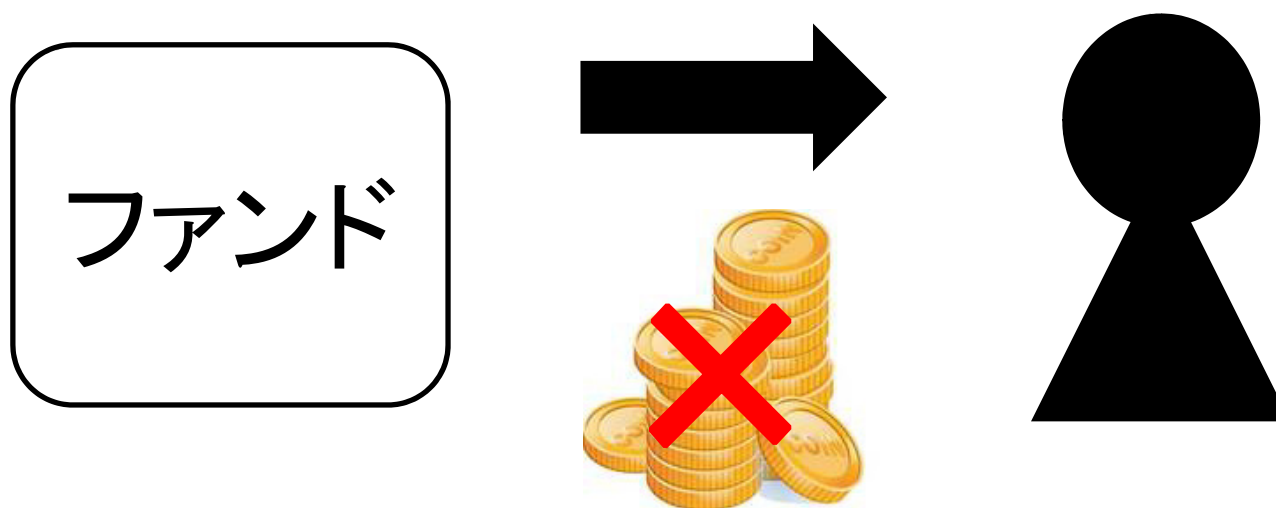
ポイントの対価に、現金等兌換性の高いものを採用しない



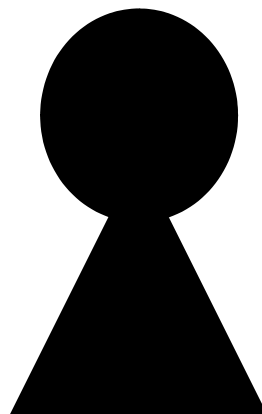
あくまでポイントによって（懸賞によって）
受け取れるものは、環境ビジネス関連の商品



「現金」ではなくあくまで「商品」を還元する

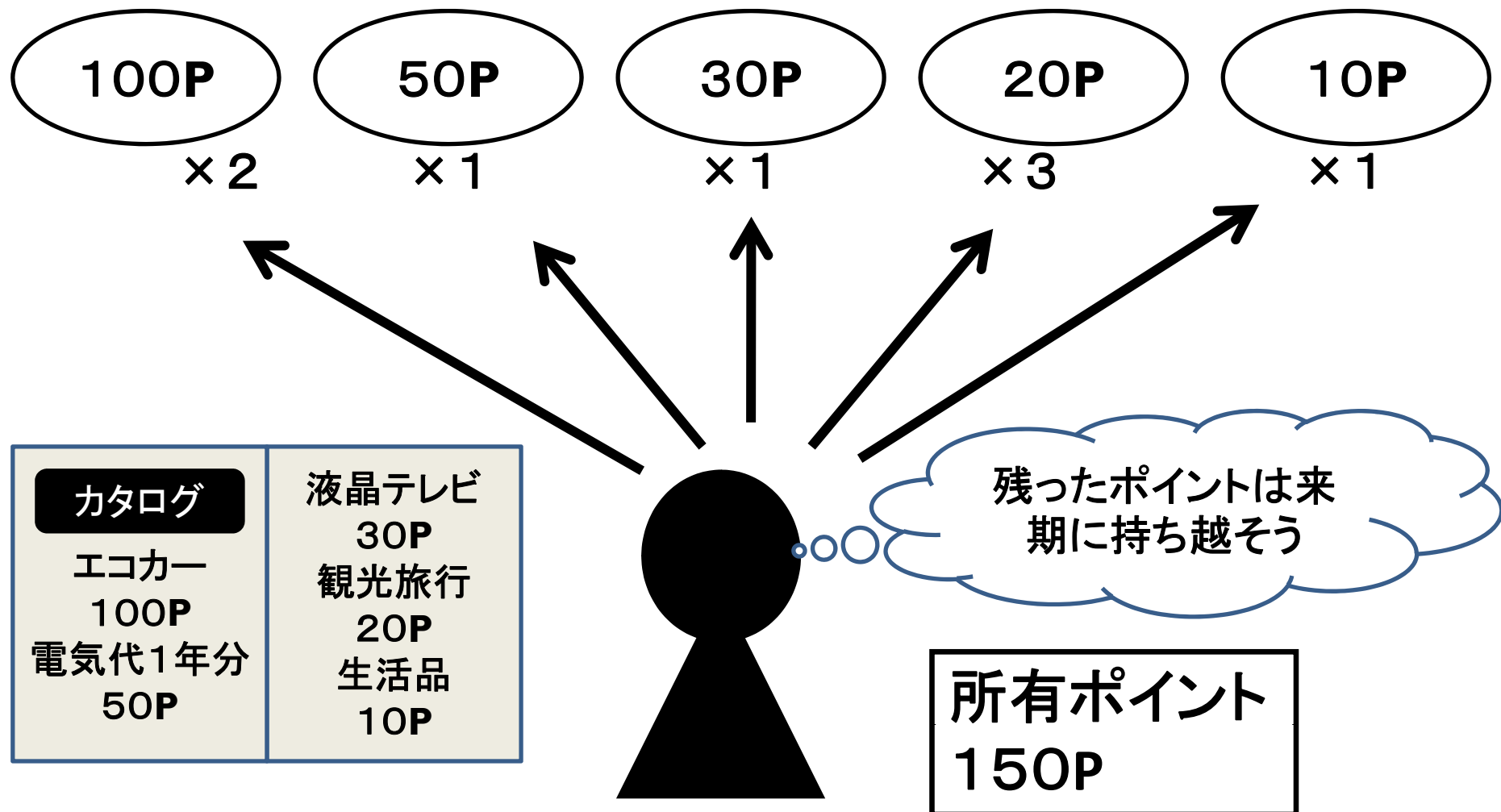


カタログ エコカー 100P 電気代1年分 50P	液晶テレビ 30P 観光旅行 20P 生活品 10P
--	---



所有ポイント
500P

カードの利用者は各期に発行されるカタログから
欲しいと思う商品を選び、ポイントを利用して応募する。



① 懸賞応募形式

1. 少ない原資でより効果的に利用者の満足度を得るため！

⇒宝くじを考えれば分かるように人間は必ずしも確率に対して合理的な判断をしない。(プロスペクト理論)

2. 利用者への総還元量(配当費用)をファンドが操作できるようにするため！

⇒懸賞の賞品総額を決めるのはあくまでファンド自身
どんなに応募が来ようとも総還元量の規模は不変

② 商品還元形式

1. 利用者に対して還元量の価値を見えづらくするめ！

2. 環境ファンド、環境ビジネス関連企業にとっての
広告の役割を果たすため！

カタログA

外車エコカー
200P

電気代半年分
30P

液晶テレビ
30P

観光旅行
30P

ミニ風車
10P

カタログB

国産エコカー
150P

電気代1年分
60P

LEDテレビ
50P

生ゴミ処理機
30P

節水シャワー
10P

CONTENTS

1. 日本国内の課題・問題点
2. それら諸問題を解決すべく着目した業界
3. ECOMOカードの具体的説明
4. ECOMOカードによる課題解決

4章

ECOMOカードによる課題解決

1

環境ビジネスという基幹産業

エコファンドに資金が流入し、その資金が環境ビジネスに投資されることで産業発展の下支えとなる。

2

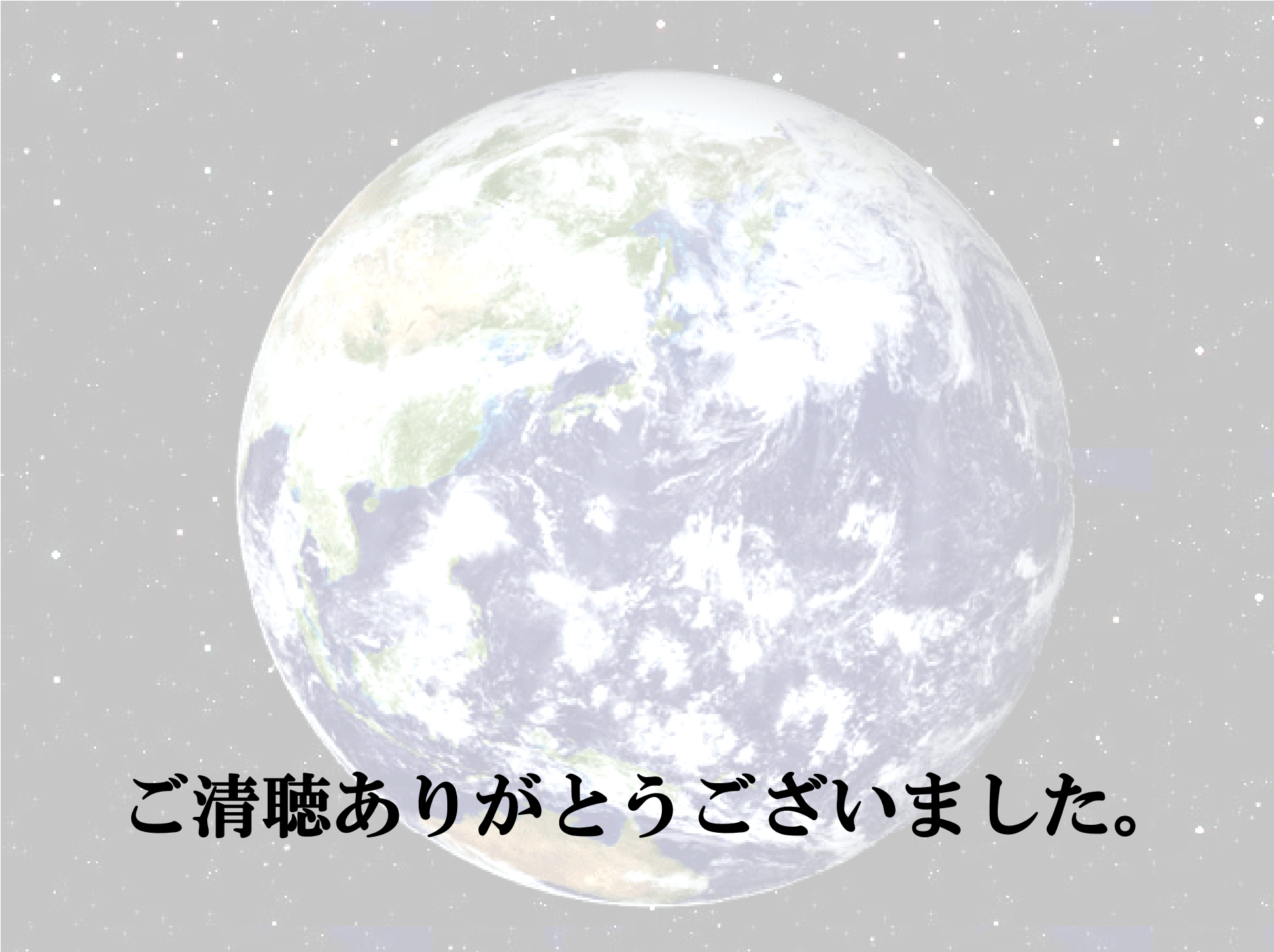
エコビジネス発展による 環境問題の改善・解決

環境ビジネスの促進は環境問題を解決する糸口となる。

3

投資の入り口としてカード

カードの利用者は、環境ファンドを通して間接的に投資のプレイヤーに組み込まれる。



ご清聴ありがとうございました。